飯豊（いいとよ） あきひさ

四街道市議会議員

41歳 働く！

つながろうよつかいどう通信

介護福祉士
社会福祉士
精神保健福祉士

発行日：２０２６年１０月１日　vol15



命と暮らしを守る！想定外の豪雨災害から学ぶ

千葉豪雨・台風２５号の課題検証と、いま四街道市に必要な防災・減災対策

床上浸水	床下浸水	冠水通行止め	がけ崩れ	停　電	放置車両
１５０棟	１８６棟	９カ所	１５カ所	１２地区	１７台

＊９月９日時点　放置車両に水没車両数に被害は含まず。台風２５号被害は含まず。



台風２５号　めいわ地区がけ崩れ

8月13日19～20時、1時間当たり100.5ミリの猛烈な雨により市内で大きな被害が発生しました。



（↑河川氾濫のみを想定した現在のハザードマップ）

①「内水氾濫ハザードマップ」の即時策定を！

現在のハザードマップは浸水想定のみ。法の策定義務を理由にせず、今回の被害情報を集約した「内水ハザードマップ」の早期作成を強く要望しています。

※千葉県では豪雨被害の情報を集約中です。
QRコードより情報提供にご協力ください

スマホで写真・情報を送信！

② 浸水被害の認定判定の見直し・検証

床上浸水等で実態より判定が低く出ることによる被災者の負担増が懸念されます。現場の調査基準と国の指針との乖離を含め妥当な判定か、関係各課への聞き取りと検証を進めています。なお、県内被災住宅の９割が被災者生活再建支援制度の対象外となる「**半壊**」以下との報道もあり、実情に即した判定と支援が求められています。

③ 制度の網の目から落ちる被災者への支援拡充

地震を主想定とした現行の被災者生活再建支援法は、浸水被害に対して判定が厳しく、市単独での財源確保も困難です。実情に合った制度改正・財政支援が不可欠であり県、国へ制度改正要望を栗原直也県議会議員、小林さやか参議院議員を通じて行っています。

④ 国への意見書提出の取り組みと今後の行動

県及び国へ支援制度の適用拡大を求める意見書を本市議会から提出できるよう発案しましたが、残念ながら賛同に至らず断念せざるを得ませんでした。しかし諦めることなく、国への直接要望や市長会を通じた働きかけなど、利用可能なあらゆるルートから支援拡充を求め続けてまいります。



（災害ボランティアとして、自力搬出できない方の災害ゴミを数百キロ運び出しました）

消防本庁舎の耐震性と建て替え推進について



構造耐震指標（Is値）
0.357判定の背景と今後の課題



一部報道で「震度6強で倒壊の危機」と報じられた四街道市消防本部。1972年の建設から50年以上が経過し、狭小化や老朽化、大雨被害も重なり、早急な建て替えが必要です。私自身も初当選時よりこの課題を取り上げてまいりました。
一方で正確な構造的理解も必要です。消防庁舎は消防車が出動できるよう1階前面が大開口（ピロティ構造）となっており、元々Is値が低く出やすい構造です。さらに平成14年、調査時と比べ、現在は大地震の教訓を踏まえた評価手法の厳格化など検査基準自体が更新されており、それらも今回の数値に影響しています。
とはいえ、市民の生命と財産を守る防災拠点としての限界を迎えていることに変わりはありません。敷地問題や関連用地の扱いを含め、将来を見据えた適切な判断と早期の建て替え計画推進を強く求めてまいります。

消防職員の処分と問われる組織の倫理観

7月28日、消防職員の不祥事に伴う減給等の処分が発表されました。出勤時の呼気検査で道路交通法上の違反には当たらない数値（0.025mg/L）が検出された際、当日の運転業務からは外したものの、上司がその数値を「0」と改ざんして勤務を続けさせていたことが内部通報で発覚したものです。
本来、検知された事実を正確に報告し正しく対応していれば問題は大きくならなかったはずです。今回最も重大な問題は、酒気帯びの有無そのもの以上に「不都合な事実を隠そうとした倫理観の欠如」にあります。
再発防止策として、改ざんのできない自動記録式呼気検査システムの導入を求めるとともに、組織全体のコンプライアンス意識と倫理観の醸成を強く申し入れました。



※注釈 今回の質疑は決して職員擁護ではありません。仮に「酒気帯び」等の明確な違反があれば厳しく追及していました。私は2006年に福岡県で発生した、幼い子供3人の命が奪われた福岡市職員による飲酒運転・隠蔽事故を今も忘れていません。皆様の信頼を損なわぬよう、市組織に対し今後も厳しく姿勢を正してまいります。

建築45年・文化センター建て替え入札が不調に



先送りのツケが財政を圧迫、公共施設再配置の決断が急務

1980（昭和55）年の建設から45年余りが経過し老朽化が進む四街道市文化センターは、改修・建て替えに向け2026（令和8）年7月より休館に入っています。しかし、事業者選定のための入札は不調（不成立）に終わりました。資材費や人件費の高騰により、市が提示した約39億円の予定価格では対応できず、約2割の費用増額が必要との見通しです。
消防庁舎、ゴミ処理施設、そして文化センターと、老朽化した主要な公共施設の更新時期が重なり、市の財政を大きく圧迫しています。本来であれば「公共施設再配置計画」に基づき、過去に計画的な手当てを進めておくべきでした。先送りしてきた政治の責任は重く、そのツケが今、建設費高騰という形で跳ね返っています。
課題をこれ以上先送りにせず、市民の利便性と財政の健全性を両立させる現実的な再設計と決断を強く求めてまいります。

発行責任者：飯豊　明久
四街道市和良比950－70
第一わらびハイツ210
電話　090-9859-7997
市政のお困りごとはいつでもご相談ください！

国民民主党公認
千葉県総支部連合会
幹事長

国民民主党 こくみん

議会中継
9月議会質問

ホームページ

X（旧Twitter）

YouTube

Instagram

飯豊あきひさ